

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(5)			
政策体系	施策名	多様で厚みのある産業集積の深化	所管部局名	商工観光労働部			長期総合計画頁	93
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	大企業や研究機関等の活用による 新たなイノベーションの創出	本県産業の基盤となる産業集積の推進	次代を担う産業の育成

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i 中小製造業の製造品出荷額(億円)	①	H25	11,731	13,280 (R1)	12,671 (R1)	95.4%	14,375 (R5)													
ii 食品出荷額(億円)	②	H25	2,719	3,074 (R1)	2,812 (R1)	91.5%	3,327 (R5)													
iii 医療機器製造業登録事業所・製造販売許可事業者数 (件・累計)	③	H30	31	34	26	76.5%	40													

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 概ね達成	石油・石炭、電子部品、金属製品など10業種において、製造品出荷額等が増加したことにより、目標値を概ね達成した。なお、実績値に使用している国の工業統計調査が未確定のため、目標値、実績値ともにR1の実績(確報値)を記載している。		達成 不十分
ii 概ね達成	おおいた食品産業企業会や商工団体による県内企業の大型見本市への合同出展や、研修会を通じた加工技術・商品開発能力の向上などにより、目標値を概ね達成した。なお、実績値に使用している国の工業統計調査が未確定のため、目標値、実績値ともにR1の実績(確報値)を記載している。		
iii 著しく不十分	複数の製造業登録事業所を保有する企業による製造拠点集約等により目標値を達成できなかった。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・産業科学技術センターと県内企業で共同開発したドローンの飛行性能を安全に評価・検査できる「ドローンアナライザー」を、産業科学技術センターに導入し、機体認証制度での活用を目指す上での基盤整備ができた。
②	・自動車関連産業では、電動化セミナーや経営者層を対象としたワークショップ、試作補助、日本語教育支援補助などを実施した。 ・半導体関連産業では、研究開発に加え、大学・高専と連携した補助事業やWebを活用した海外との商談会実施等の支援を行った。 ・食品関連産業では、ビジネスマッチングや商品開発、人材育成支援のほか、デジタルマーケティングによる販路開拓やHACCP講習による品質管理の高度化を支援した。
③	・大分県医療ロボット・機器産業協議会では、県内企業による医療関連機器等の開発支援や、県内企業が開発した機器の販路拡大を支援するための共同出展を行ったほか、常設の展示・交流スペースを開設した。 ・大分県エネルギー産業企業会の活動を通し、水素の地産地消に向けた実証事業を実施するとともに、次代を担う水素エネルギー産業の事業化に向けた支援や情報共有を図るため、企業会に水素関連産業分科会を設置した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	ドローン産業振興事業	99.7	218
②	食品産業需要適応支援事業	280.0	230
	おおいたLSIクラスター構想推進事業 自動車関連産業企業力向上事業	104.8 100.0	230 231
③	医療機器産業参入加速化事業	76.5	231
	エネルギー関連産業成長促進事業	100.0	232

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R3.8) ・IoTやロボットを駆使して無人化工場を作り、いかに人を使わずに工場を動かすという逆の発想があってもよいと考える。そういった取り組みをする企業に対する支援をしていただきたい。</p>	<p>○第6回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R4.2) ・先端技術は非常に短期間で変わっている。情報を制したものが勝つと思っている。半導体、宇宙関連もしっかり情報を出してほしい。</p>
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車・自動車関連産業については、電動化へ対応しようとする企業に対し、技術的な相談や支援機関の体制づくりをするとともに、現場改善セミナーや電動化セミナー等により、生産性向上とニーズに応じた人材育成・確保の取り組みを進めていく。 ・半導体関連産業については、新たに事業創出セミナーなどに取り組み、新しい分野・市場への進出やトップシェア獲得に向けチャレンジする地場企業に対し、研究開発・販路開拓・人材育成の面から支援を行う。 ・食品産業については、大規模展示会の出展機会の拡大など、県内食品産業のマーケットニーズへの適応を支援していく。 ・医療・介護・福祉機器等については、大分大学医学部附属臨床医工学センターや医療・看護・介護・福祉従事者と企業との連携を支援するとともに、医療機器等販売ディーラーとの交流を積極的に行い、市場を見据えた機器開発・販路拡大の支援に努める。 ・地熱・温泉熱や小水力等本県の強みを活かしながら、引き続き県内におけるエコエネルギーの導入及び水素等の新エネルギーに関する研究開発を支援していくとともに、実証事業に取り組んでいく。